

一ネットに接続しているPCスペースが共用です。学寮と学校の間に第一食堂・第二食堂があり、寮生は三食ともここで食事をします。専任の管理栄養士・調理師がいて、昼は1200食を作っている広い厨房があり、おかずもおかわりできる豊かで健康的な食生活を送っています。

起床は6時15分。6時30分に点呼ですが、雨天でない限り屋外に出て点呼します。そのため洗面や着替えを行う必要があり、点呼後寮周辺の散歩をしたり、中学フロアは運動やスポーツをしたりします。その後寮室や共通部分の清掃をし、7時30分から8時の間に朝食に行きます。たいていの生徒は制服に着替えて、朝食後そのまま登校します。

8時30分に始業、3時40分に放課後になります。食堂2階にある大浴場には4時から入れますが、たいていの生徒は部活動をして、6時15分から夕食。夕食後に入浴し、洗濯したり片付けたりして過ごします。

7時30分から“沈黙の時間”という学習時間になります。中学生は2時間、高校1・2年生は3時間です。高校3年生は受験勉強のため別格です。この時間、中学フロアには週2回、卒業生の筑波大生がチューターとして学習指導に来ます。高校生には希望制で英語や数学の補習を受講できるようになっています。消灯は中学フロアが10時、高校1・2年が11時です。これは定期試験前も変わりません。文武両道を実践しながら健康的な生活を送るため、“一夜漬け”などはもっての他なので、普段から計画的に学習する習慣をつけさせます。沈黙の時間中はハウスマスターが巡回し、学習に集中していない生徒は注意されます。何度も注意を受ける生徒はだんだん厳しい注意となり、最後は「君は何のために茗渓学園の寮生になっているのかね?学習をきちんとできないならば他校に移りなさい。」となっています。

土曜の夜だけ沈黙の時間はありません。生徒は仲のよい生徒の寮室に集まっておしゃべりしたり、寮委員会(各フロアのフロア長たちの組織です)主催のビデオ会(寮生に希望をとって人気のビデオを大画面で見る)に参加したりして過ごします。

### 田代 淳一 (たしろ じゅんいち)

茗渓学園中学校高等学校 教務部長・教員(化学)



茗渓学園では前向きで明るく逞しく積極的な青年が育っています。

「有名大学に行きたいから勉強する」ではなく、「中学・高校時代にいろいろな事に挑戦し、失敗し、考え、自分を探して、自分で自分の将来を見つけて、自分で歩んでいく。その方向が地球を救い、人類の未来を拓く方向であってほしい。」そう考え、支援するが茗渓学園の教員の役割です。

海外生・帰国生が自分の力で自分の未来を切り拓いてきた経験はここで開花します。



日曜休日は部活動に行ったり、寮生用貸出自転車でショッピングモールや映画館に行ったり。

年に数回、寮委員会主催の全フロア合同のスポーツ大会を夜に行ったり、女子は食べたい料理を作ってたべるフロア会をしたり、夏の寮祭(学校の敷地内で昼間からバーベキューをして、フロア毎に出し物をしたりして騒ぎます)、冬のクリスマス会(食堂をパーティ会場にし、高校3年生を送りだすクリスマスパーティ)などのイベントもあります。新入寮生のために4月の日曜日には筑波山ハイキングもあります。きちんとした寮生活を送るため、普段は寮室単位・フロア単位でお互いを励ましあい、管理しあいながら生活しますが、レクリエーションやお楽しみもまた寮生みんなで話し合って創り上げていきます。寮生の自治組織、寮生総会では学校に要求したいことも話し合いますし、お互いの生活の仕方の点検や提案もなれます。

こういう生活を6年間続けた子どもがどんな青年になると思いますか?茗渓学園では以前は「茗渓教育の真髓は寮にある」と公言していました。現在は寮生の数が少なくなってきたので(これは、筑波学園都市が発展して人口が増え、千葉県茨城県に私立中学進学が認知されてきたため、通学生の入学者が増加し、相対的に寮生が減少してきたためです)、通学生がすねてしまうのであまりこの言葉は使っていません。

☆

次号では、私がハウスマスターとして寮生たちと生活していたときのエピソードの数々をお話します。

茗渓学園中学校高等学校

〒305-8502 茨城県つくば市稻荷前 1-1  
TEL. 029-851-6611(代) FAX. 029-851-5455  
[www.meikei.ac.jp](http://www.meikei.ac.jp), メール:[entry@meikei.ac.jp](mailto:entry@meikei.ac.jp)

茗渓学園の学寮の紹介です。

「Study Skillsから離れて茗渓学園の寮のお話」とのことですが、寮生活を通して、寮生に様々なスキルを指導しています。

これまで何度も紹介しましたが、「校長先生は寮に住む」のが茗渓のルールです。柴田校長も、映画「ハリーポッター」の校長同様、寮生活です。

海外から帰国した中学1年の新入生も、適応の時期を過ぎて、寮生活をエンジョイし始めたようです。